

宮古市立宮古西中学校の1年生が林業の仕事を経験しました！

1 はじめに

宮古市立宮古西中学校では、進路学習の一環として、第一次産業となる職業について理解を深めるため、1年生を対象に体験学習を実施しています。

本年度、林業体験を希望する生徒がいたことから、当室では、中学校からの依頼を受け、林業体験の支援を行いましたので、その取組について報告します。

2 林業体験学習の概要

体験学習は、令和5年7月6日(木)、宮古市崎山地内のスギ林で行いました。はじめに、当室職員が「森林の持つ働き」について話をし、次に、林家の齋藤さんから「枝打ちや間伐作業の必要性」、いわて森の達人である寶さんからは、「蜂の生態や注意すること」について話をいただき、その後、1年生18名が、枝打ち体験や、間伐の補助作業を行いました。



真剣に耳を傾ける宮古西中学1年生

枝打ちでは、生徒全員が鋸を使ってスギの枝を切り落としました。林家の齋藤さんの「枝打ちは木を植えてから最初の外科手術」という言葉を聞き、皆、幹を傷つけないよう丁寧に作業

をしてくれました。



指導を受けながら丁寧に枝打

間伐体験では、木の高さ当てクイズを行ったり、チェーンソーで木を切る作業を見学したりしたほか、滑車を使って安全に木を切り倒す作業を手伝いました。生徒たちは、安全のための工夫がたくさんあることや、一瞬一瞬真剣に作業を行っていることを実感した様子でした。



ロープを引っ張って間伐のお手伝い

3 おわりに

当管内においても担い手不足が課題の一つとなっています。若い世代が林業を体験し正しく理解していただくことは、将来の職業を決める上で林業も選択肢の一つになるのではと期待しています。今後も、こうした普及活動に関わっていきたいと考えています。